

## 2 / 16 校長講話

2つの話をします。

1つは、飛行機に乗っていた時の出来事です。

飛行機が離陸するとすぐに赤ちゃんが泣き始めました。きっと慣れない機内で嫌になったのかもしれません。赤ちゃんの泣き声はだんだんと大きくなり、機内に響きわたっています。赤ちゃんのお母さんは、何とか泣き止まそうと、おもちゃを渡したり飲み物を飲ませたりして一生懸命あやしています。しかし、赤ちゃんは泣き止まず、機内に大きな泣き声が響いていました。

なんとなく機内の様子がピリピリ嫌な雰囲気が蔓延していたことを覚えています。

そんな時です。あるご年配の女性の方が次のようなことを言ったのです。

「赤ちゃんは、泣くことが仕事なんだから気にしなくていいわよ」と、皆に聞こえる声で…

この言葉にどれだけ赤ちゃんを抱くお母さんは救われたでしょう。その言葉の後、機内の雰囲気は、ピリピリからポカポカに変わりました。

2つは、通勤の電車の中で、次のような光景を目にしました。

「すみません。こちらの方に席を譲ってあげていただけませんか。」と…。

私がそちらを見ると、大学生くらいの青年が、シートに座っている若い青年に声をかけているところでした。その傍らを見ると、ご高齢の女性が辛そうに立っています。その直後、声を掛けられた青年は

「すみません。どうぞ。」と席を譲り、女性は、双方の若者にお礼を言ってすまなさそうに、でもほっとした様子で座りました。電車内の空気が一瞬で温かくなったようでした。

私は、「自分で席を譲ることはあっても、誰かに席を譲らせる行為はなかなかできないなあ」と声を掛けた青年の行動に感心したのを覚えています。

2つの話の共通することはなんですか。頭の中で考えてください。

孔子の「論語」に

「己の欲せざるところ、人に施すことなかれ」

という教えがあります。これは、「自分がされて嫌なことは、他人にもしないようにしよう」という、思いやりの心を説いた言葉です。裏を返せば「自分がされて嬉しいことは、他人にもしよう」ということにつながります。

皆さんの「されて嬉しいこと」は なんですか。

ぜひ、「されて嬉しいこと」が友達にできる光が丘夏の雲小学校の子であってほしいです。